

【幼児教育専攻】万葉植物園の食べられる植物散策（ゼミナールⅠ）

大阪大谷大学には万葉植物園・薬草園があります。

講義で使用したり、休み時間にゆっくり歩いたりすることができます。

今回は「食べられる植物」をご紹介します。

橙（ダイダイ）、温州みかん、プラム、ブルーベリー、ブラックベリー



リンゴ、ハーブ、アーモンド!! 落ちていた実を割ると生のアーモンドが出てきました。まだまだご紹介しきれていないのですが、少し歩くだけでこんなに沢山の食べられる植物が見つかりました。



月桂樹（ローリエ）は、数年前にゼミナールⅠ（富永ゼミ）の講義で、煮沸消毒し乾燥させてスープに入れて香りを楽しみました。



保育者になって子どもたちと自然の中を歩く時、「食べられる植物」という視点をもっていると、いつも見ている風景が違って見えてきます。ただし、植物の中には毒素を持つものもありますので注意も必要です。正しい知識をもって散策することが大切です。大阪大谷大学では自然に恵まれたキャンパスで、様々な学びができます。皆さんも一緒に学びませんか。